

すまいをトークは木造住宅を中心に、住まいに関することを建築士を交えて学ぶ会です



すまいをトーク

“心地よい暮らしを探る”

すまい **再** 発見!!

背景木：スギ

第21期 2026年4月開講



相樂園 浣心亭 (2025年12月見学)

◆ 2026年度日程 ◆

4月12日(日)	初井家住宅・姫路文学館・好古園・(姫路城)	【JR「姫路」駅	10時00分集合】
5月17日(日)	上町台地界隈まち歩き	【大阪メトロ「谷町九丁目」駅	13時30分集合】
6月21日(日)	ホーリィ☆の走れるサンダル	【近鉄「大和西大寺」駅	12時30分集合】
7月 9日(木)	ひとりで切り拓いた暮らし	【大阪市立住まい情報センター	18時30分～】
8月20日(木)	すまいとことば	【大阪市立住まい情報センター	18時30分～】
9月10日(木)	畳は古い、でも古くない	【大阪市立住まい情報センター	18時30分～】
10月24日(土)	昭和町～田辺界隈の長屋をめぐる	【大阪メトロ「昭和町」駅	14時00分集合】
11月21日(土)	<けいはんな記念公園(水景園)など>探索	【JR「祝園」or近鉄「新祝園」駅	11時30分集合】
12月10日(木)	蘇った古民家の古材たち	【大阪市立住まい情報センター	18時30分～】
【2027年】			
1月14日(木)	大坂三郷の大工集団	【大阪市立住まい情報センター	18時30分～】
2月18日(木)	瓦職人として [part2]	【大阪市立住まい情報センター	18時30分～】
3月20日(土)	奈良監獄ミュージアム(星野リゾート)と般若寺	【近鉄「奈良」駅	14時30分集合】

主催 すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>
 問合せ すまいをトーク事務局(北川) E-mail: contact@sumai-talk.info
 申込み(見学・ワークショップのみ、座学は不要) ヨーメール: 090-2067-6488(6月以外)
 090-8823-9528(6月のみ)



すまいをトーク

■ すまいをトーク 2026

「すまいをトーク」は、関西を中心に活躍している建築士・職人さんなど有志が、「すまいに関心があっても、市民がじっくり学べる場が少ない」という声に応え、誰でも参加できるセミナーとして企画されました。今年度で21年目を迎えます。

今年度も“心地よい暮らしを探る”をテーマに、座学では「すまいとことば」、「大坂三郷の大工集団」などの講座を行います。

また、秋には「昭和町～田辺界隈の長屋」も探訪します。

これらの講座や見学、体験を通じて、皆様方と一緒にすまいや建物について考えていきたいと思っております。今年度も多彩な内容をお楽しみくださるよう、例会へのご参加をお待ちしております。

なお、見学・ワークショップの講座につきましては、事前にショートメールにてお申込みいただきますようお願い致します。

活動内容については、HPをご覧ください。

すまいをトーク

検索



2025年10月 堺山口家住宅



2025年11月 旧五条楽園探訪

■ 会 費

1. 年会費（一般） 全12回 12,000円
2. 年会費（過去のすまいをトーク年会費納入者） 全12回 10,800円
3. 単回参加費：1回（一般）1,500円 （学生）1,000円
4. 見学講座は別途、交通費、施設入場料及び昼食代等が必要になります。



2025年8月 座学風景

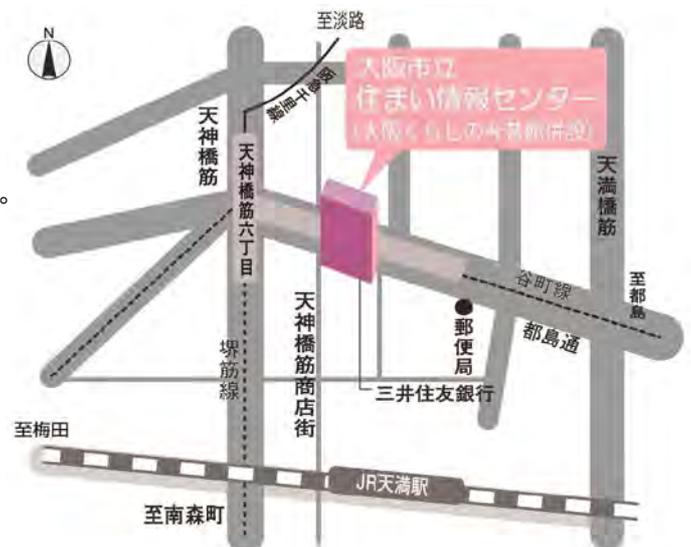
■ 会 場（座学）

大阪市立すまい情報センター 5階研修室
（大阪市北区天神橋6丁目4-20）

大阪メトロ(地下鉄)谷町線又は堺筋線
「天神橋筋 六丁目」駅 3号出口をご利用ください。
JR環状線「天満」駅からは北へ約650mです。

※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

講座時間(座学):18時30分～20時30分



(大阪市立すまい情報センター冊子より)

”心地よい暮らしを探る”
2026年度 すまいをトーク 日程表

日程		講座内容		講師	会場(集合時刻・場所)
第1回	2026年 4月 12日 (日)	見学	初井家住宅・姫路文学館・好古園・(姫路城)	松村 和吉 氏 (すまいをトーク運営委員)	集合場所 JR「姫路」駅 集合時刻 10時00分 歩行距離 約3km 入場料等 計2,250円(昼食代含む)
第2回	5月 17日 (日)	見学	上町台地限界まち歩き ～天王寺五坂を巡る～	松村 和吉 氏 (すまいをトーク運営委員)	集合場所 大阪メトロ「谷町九丁目」駅 集合時刻 13時30分 歩行距離 約3km 入場料等 —
第3回	6月 21日 (日)	ワークショップ	ホーリィ☆の 走れるサンダル (MANSANDALS)	ホリグチ シンヤ (ホーリィ☆)	集合場所 近鉄「大和西大寺」駅 集合時刻 12時30分 歩行距離 — 材料費等 3,500円
第4回	7月 9日 (木)	座学	ひとりで切り拓いた 暮らし ～便利さの先に見えたもの～	谷野 浩司 氏	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第5回	8月 20日 (木)	座学	すまいとことば —俳句に詠み込まれた 「ことば」から「すまい」の 風景をさぐる—	川本 豊 氏 (竹中大工道具館 ボランティア事務局長)	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第6回	9月 10日 (木)	座学	畳は古い、でも 古くない —地域の畳屋が考える、 畳のこれから—	大江 俊幸 氏 (大江畳 代表)	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第7回	10月 24日 (土)	見学	昭和町～田辺界隈の 長屋をめぐる	伴 現太 氏 (連・建築舎 代表)	集合場所 大阪メトロ「昭和町」駅 集合時刻 14時00分 歩行距離 約3km 入場料等 —
第8回	11月 21日 (土)	見学	<けいはんな記念公園 (水景園)など>探索	牧 彰 氏 (すまいをトーク運営委員)	集合場所 JR「祝園」or近鉄「新祝園」駅 集合時刻 11時30分 歩行距離 3～4km 入場料等 220円(一般)110円(65歳以上)
第9回	12月 10日 (木)	座学	蘇った古民家の古材たち ～古民家の梁丸太・ 差し鴨居の再生ノ リノベーション住宅の実例～	梅田 誠亮 氏 (すまいをトーク運営委員) 高木 博 氏 (すまいをトーク運営委員)	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第10回	2027年 1月 14日 (木)	座学	大坂三郷の大工集団	田坪 賢人 氏 (大阪公立大学大学院研究員 京都学・歴彩館京都学推進研究員)	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第11回	2月 18日 (木)	座学	瓦職人として [part 2]	平山 直樹 氏 (ルーフトイルミナツ(平山瓦店)代表)	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第12回	3月 20日 (土)	見学	奈良監獄ミュージアム (星野リゾート) と 般若寺	中村 忠夫 氏 (すまいをトーク運営委員)	集合場所 近鉄「奈良」駅 集合時刻 14時30分 歩行距離 約1km 入場料等 計2,700円(一般)2,200円(奈良県民)

主催 すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>
 問合せ すまいをトーク事務局(北川) E-mail: contact@sumai-talk.info
 申込み (見学・ワークショップのみ、座学は不要) ショートメール: 090-2067-6488(6月以外) 090-8823-9528(6月のみ)

会費 ①年会費(一般): 全12回 12,000円 ②年会費(過去のすまいをトーク年会費納入者): 全12回 10,800円
 ③単回参加費: 1回 一般 1,500円 学生 1,000円
 ※見学講座は、交通費・入場料・昼食代等が別途必要になります。

※ 日程・講師・講座内容は変更になる場合もあります。また、荒天時は中止になる場合がありますので予めご了承ください。



第1回 2026年4月12日(日)

【見学】

初井家住宅・姫路文学館・好古園・(姫路城)

○案内人：松村 和吉 氏 (すまいをトーク運営委員)



(株)松村設計 代表取締役

- ・1951年 大阪府羽曳野市生まれ
- ・1991年 株式会社松村設計設立
- ・大阪府建築士会「建築士の会南河内副代表」
- ・大阪府建築士事務所協会第四支部相談役
- ・大阪府建築士会耐震部会代表幹事
- ・堺市耐震診断員
- ・一級建築士

初井家住宅 (都市景観重要建築物)

当家は姫路市の誇る文化人が愛し育んだ建物であるだけでなく、播磨地域の商家(町家)の江戸期から明治大正昭和への形態的な発展過程を顕著に表している建物、現在では再現困難な高い意匠性を持つ建物である。当家の建物は、江戸時代後期に建てられた間口4間の主屋、その東側に大正期に増築された座敷棟、座敷の南側に設けられた広い庭、その奥に配されている土蔵と茶室で構成されている。



玄関土間



中庭



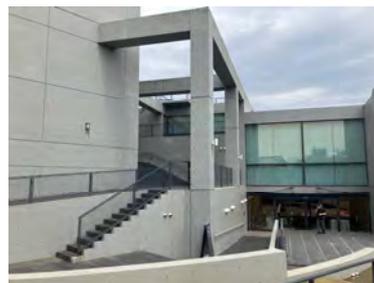
中庭から望楼を望む



建具意匠

姫路文学館

姫路を中心とした播磨ゆかりの文化人たちを顕彰し、資料の収集・調査・研究を行う、文学活動の拠点となることを目的として姫路城の北西に位置し城を借景に設計されている。(安藤忠雄氏設計)



姫路城



◆順路：姫路駅～初井家住宅(昼食)～姫路文学館・望景亭～好古園(解散)

*姫路城は各自自由見学

- ◇日時：4月12日(日) 10時00分～15時00分頃
- ◇集合場所：JR「姫路」駅 北側改札口 10時00分集合
雨天決行 歩行距離約3km
- ◇費用：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
昼食代 1,500円(巻き寿司・穴子押し寿司弁当)
姫路文学館 450円、好古園 300円
(姫路城 2,500円)
- ◇申込み先：すまいをトーク事務局(北川)(要申込み)
ショートメール：090-2067-6488
- ◇当日連絡先：090-7497-6444(松村)

4月12日(日)

すまいをトーク参加申込書

氏名	
当日連絡先	
懇親会	参加 ・ 不参加

申込みは、4月5日までにショートメールでお願いします



第2回 2026年5月17日(日)

【見学】

上町台地界限まち歩き ～天王寺五坂を巡る～

○案内人:松村 和吉 氏 (すまいをトーク運営委員)



(株)松村設計 代表取締役

- ・1951年 大阪府羽曳野市生まれ
- ・1991年 株式会社松村設計設立
- ・大阪府建築士会「建築士の会南河内副代表」
- ・大阪府建築士事務所協会第四支部相談役
- ・大阪府建築士会耐震部会代表幹事
- ・堺市耐震診断員
- ・一級建築士



清水の舞台から望むハルカス

◆見どころ

天王寺七坂は大阪市天王寺区の南西部、上町台地の斜面にある7つの坂の総称。

本見学では、そのうちの5坂を巡り、上町台地の起伏を体感しながら周辺の歴史的な社寺を巡ります。



大江神社(愛染堂)



清水坂



清水寺(玉手の滝)

◆順路

生玉魂神社→**口**縄坂→大江神社(愛染堂・愛染かつら・多宝塔・家隆塚)→**愛染坂**→**清水坂**→清水寺(玉手の滝・清水の舞台)→**天神坂**→安居神社→**逢坂**→四天王寺さん参拝境内見学

5月17日(日)

すまいをトーク参加申込書

氏名

当日連絡先

懇親会

参加 ・ 不参加

- ◇日 時: 5月17日(日) 13時30分~17時00分頃
- ◇集 合 場 所: 大阪メトロ「谷町九丁目」駅 西側改札口
13時30分集合 雨天決行 歩行距離約3km
- ◇費 用: 単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
- ◇申 込 み 先: すまいをトーク事務局(北川)(要申込み)
ショートメール: 090-2067-6488
- ◇当日連絡先: 090-7497-6444(松村)

申込みは、5月10日までにショートメールでお願いします



第3回 2026年6月21日(日)

【ワークショップ】

ホーリィ☆の走れるサンダル (MANSANDALS)

○講師：ホリグチ シンヤ (ホーリィ☆)



奈良県在住 (法隆寺の近く)

趣味：マラソン、登山、トレイルラン

2017年 マンサンダルスでラン

2018年 裸足ランを始め人間の足が持つ潜在能力に驚く。

その能力を蘇らせてくれたマンサンダルスを普及させ怪我をしない体づくりを伝えるために関西でワークショップを開く。

○ワークショップ内容

子供の頃、裸足で走り回ったことを覚えていますか？ 裸足の解放感を覚えていますか？
 シューズは年々高機能なものが売り出される。だけどそれは私たちの体にとって本当に必要なものなのでしょうか？
 明治時代初期まで日本人は裸足やわらじで生活をしていました。
 一般人でも重い荷物を背負って峠道を1日に40~50Kmも移動することができたそうです。
 シューズの過保護に甘えて、私たちの足は頑張らなくても歩ける足になってしまいました。
 最近は子供の扁平足や足指の変形も多いとか・・・MANSANDALS (マンサンダルス) は「裸足から考えたサンダル」で人間が本来持つ足の能力を呼び覚ますことができます。
 その人の体格骨格に合った最適な歩き方(走り方)、つまり重心移動が身に付き、故障しにくい足腰づくりができます。
 軽量ゴムソールにバラコード (アウトドアで多様に使われているカラーコード) を通して作ります。
 片足わずか50g! 超軽い! ピタッとフィットさせて結ぶワラージとは異なり、紐はゆるゆるに仕上げます。
 そのゆるさが、眠っていた人間本来の裸足スキルを呼び覚まします。
 バラコードは10色程から好きな色を選んでいただけます。
 「すまいをトーク」の【見学会】の際にも、履いて大地をとらえる感覚を体感していただきたいサンダルです。
 世界に一つ、自分の足に合わせたマンサンダルを手作りして
 “足元から暮らしを見直す”ことを実感してみませんか。



◇日	時：6月21日(日)	12時30分~16時30分頃
◇集合場所：	近鉄「大和西大寺」駅 南改札口12時30分集合	
◇費用：	材料費 3,500円(資料代等を含む) 単回参加費 一般1,500円、学生1,000円	
◇持ち物：	よく切れるはさみ 材料の切れ端を持って帰る袋(レジ袋)	
◇申込み先：	すまいをトーク6月担当(高柳) (要申込み) ショートメール：090-8823-9528	
◇当日連絡先：	090-8823-9528(高柳)	

6月21日(日)	
すまいをトーク参加申込書	
氏名	
当日連絡先	
懇親会	参加 ・ 不参加



第4回 2026年7月9日(木)

【座学】

ひとりで切り拓いた暮らし ～便利さの先に見えたもの～

○講師：谷野 浩司 氏



昭和31年 兵庫県朝来市生まれ
昭和51年 金沢工業大学入学
昭和56年 阪神土木工業(株)入社
平成1年 谷野工務店設立
令和3年 伊勢志摩 200坪の山林購入～
開発～其処に住居を建立



自ら切り拓いた土地と家

○講義内容

約200坪もの土地を一人で切り拓き、家を見て、家庭菜園での自給自足を実践。電気こそ引き込まれていますが、水道もガスもなく、トイレすら自作——その排泄物は畑の肥料として生かされています。

その暮らしぶりに触れると、私たちが当たり前と思っている「快適な生活」は、本当に快適なのか——むしろ「無いからこそ味わえる感覚」があるのではないかと考えさせられます。

そんな誰にでもできることではない暮らしを、長年積み重ねてこられた経験から見えてきた「快適な住まいとは何だろう」という問いを、私たちに投げかけてくださいます。

ご一緒に、「生きることの豊かさ」について改めて考えてみませんか？



自ら切り拓いた海への道



目の前に広がる海



家庭菜園



雨水貯蔵タンクとソーラーパネル

- ◇ 会 場 : 大阪市立住まい情報センター 5階研修室
大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間 : 18時30分～20時30分
- ◇ 参 加 費 : 単回参加 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催 : すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>
- ◇ 当日連絡先 : 090-8823-9528(高柳)



第5回 2026年8月20日(木)

【座学】

すまいとことば

—俳句に詠み込まれた「ことば」から「すまい」の風景をさぐる—

○講師：川本 豊 氏（竹中大工道具館 ボランティア事務局長）

- ・1950年 神戸市生まれ
- ・一級建築士、インテリアプランナー
- ・兵庫県ヘリテージマネージャー
- ・所属学会：日本建築学会、北陸都市史学会



○講義内容

建築と言葉の関係を考えるに際して、まず紀元前にローマ人・ウィトルウィウスによって著された『建築書』（建築十書）が思い浮かびます。そこでは「強・用・美」という3つの要素が取り上げられています。後に、『建築論』の著者である森田慶一が、ここに4つ目の要素として「聖」（超越性）を加えます。

ところで日頃の建築実務においても、じつは言葉を駆使しているのではないのでしょうか。そして「すまい」を考えようとするときも、やはり「ことば」が有効な糸口となると思われます。ここでいう「すまい」とは単なる家（Haus）ではなく、動詞的にとらえた「すまうこと」と置き換えた方がより適切でしょう。

本講では、日本の詩歌のなかから俳句（発句）を取り上げて、「すまい」の建築的事象（「すまうこと」の風景）を考えてみたいと思います。その場所に住まう人間の存在意味・死生観などがたち頭われてくることを期待しながら…。

なお主に取り上げる俳人は以下の3人を予定しています。

- ・松尾芭蕉（まつおばしょう）（1644～1694）
（江戸元禄期の著名な俳人で、発句のみならず俳文・紀行文なども多くある。）
涼しさの指図に見ゆる住まひかな
柴の戸の月やそのまま阿弥陀坊
わが宿は四角な影を窓の月
- ・井上井月（いのうえせいげつ）（1822～1887）
（幕末の俳人で、故郷を出て信州伊那谷にとどまり漂泊の人生を過ごした。）
のぼり立つ家から続く緑かな
月さゝぬ家とてはなき今宵かな
散込やさくらの窓の細めなる
- ・種田山頭火（たねださんとうか）（1882～1940）
（飲酒が原因で出家得度、その後は庵住と行乞を繰り返した人生であった。）
柿が赤くて住めば住まれる家の木として
待つでも待たぬでもない雑草の月あかり
窓あけて窓いつばいの春

俳人たちがそれぞれに詠った住まいにまつわる「ことば」から、そこにうつる「すまうこと」の風景なるものを考えてみたいと思います。

（ご参考までに上記3人とも、岩波文庫から「句集」がそれぞれ出版されています。）

- ◇ 会 場：大阪市立住まい情報センター 5階研修室
大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間：18時30分～20時30分
- ◇ 参 加 費：単回参加 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催：すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>
- ◇ 当 日 連 絡 先：090-3719-4513(金川)



第9回 2026年9月10日(木)

【座学】

畳は古い、でも古くない

— 地域の畳屋が考える、畳のこれから —

○講師：大江 俊幸氏 (大江畳代表)

- 【略歴】 1987年 大阪府堺市生まれ
 1992年 福助株式会社入社
 1998年 福助株式会社退社後
 家業「大江畳店」に従事
 2024年 代表に就任
 同時に店名を「大江畳」に変更し
 新たな体制での事業展開を開始



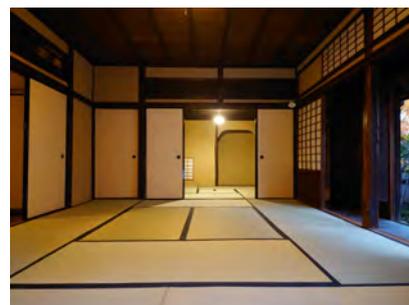
大江畳

○講義内容

- ①大江畳とは
大江畳の経歴と家業の話
- ②畳の基礎知識
なぜ畳は日本で生まれたのか
- ③畳を取り巻く現状と課題
5年後、国産い草が無くなる未来
- ④大江畳の取り組み
畳の暮らしを変える～畳の暮らしへ戻す
- ⑤畳とデザイン・建築の関係
2025大阪万博出展、畳の伝統と文化を未来に世界に
- ⑥畳のこれから、大江畳の役割
SNSが変わる、新しい畳店、畳職人のカタチ



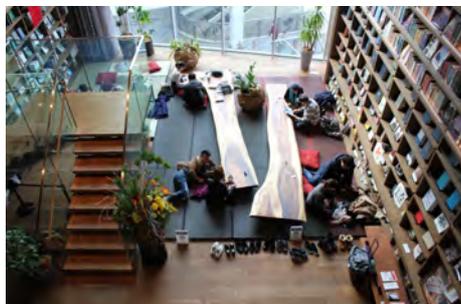
畳アクセサリー



山口家住宅



万博・堺市ブース



蔦屋書店



万博・ドイツ館

- ◇ 会 場：大阪市立住まい情報センター 5階研修室
 大阪市北区天神橋6丁目4-20
 大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間：18時30分～20時30分
- ◇ 参 加 費：単回参加 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催：すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>
- ◇ 当 日 連 絡 先：090-6236-7115(高木)



第7回 2026年10月24日(土)

【見学】

昭和町～田辺界隈の長屋をめぐる

ばん げんた

○講師：伴 現太氏(連・建築舎代表)

大阪市出身。

2000年 北海道大学建築工学科卒。

安藤建設、ヘキサを経て、2007年 連・建築舎設立。

2011年 阿倍野区桃ヶ池の築90年の4軒長屋(通称：桃ヶ池長屋)へ事務所兼住まいとして移転。

2024年 同エリアに新たに長屋を改修して自宅とする。



大正末～昭和初期に区画整理されホワイトカラー向けの長屋が供給された昭和町～田辺界隈の町を歩きます。100年近くこの町の住人の暮らしを支えてきた長屋。近年、これらの長屋をリノベーションして利活用して小商いの店舗利用などがおこなわれ、新たな価値を生む事例が見られます。昭和町界隈の特徴的な町の風景となっている長屋暮らしをめぐるツアーです。



10月24日(土)

すまいをトーク参加申込書

氏名

当日連絡先

懇親会

参加 ・ 不参加

- ◇日 時：10月24日(土) 14時00分～17時20分頃
- ◇集 合：大阪メトロ「昭和町」駅 南改札口
14時00分集合
歩行距離約3km
- ◇費 用：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
- ◇申 込 先：すまいをトーク事務局(北川)(要申込み)
ショートメール：090-2067-6488
- ◇当日連絡先：090-7106-1591(並平)

申込みは、10月17日までにショートメールでお願いします



第8回 2026年11月21日(土)

【見学】

<けいはんな記念公園(水景園)など>探索

○案内人：牧 彰 氏(一級建築士・すまいをトーク運営委員) 1940年東京生まれ



地域の「まちづくり」などのNPO関連事業に勤んでいます。本来の「まちづくり」は、決して地域社会の活性化などではなく、地域住民同士の文化的交流にあると思うのです。

目下、「まちづくり」「まちおこし」が一種のブームですが、あたかも油の切れた自転車を漕いでいるかのようで、金属間の軋む音が耳障りでなりません。サービス業(建築設計)という職業柄、車輪を回す原動力にはなり得ませんが、せめて「地域社会の交流を円滑にする潤滑油にでもなれば!」との想いです。

今後とも、皆様への「有益な情報発信の一翼を担える」ことを、切に希求しています。

京都・大阪・奈良の三府県に跨る京阪奈丘陵に、文化・学術・研究の新しい拠点創り目指して、関西文化学術研究都市<愛称：けいはんな学研都市>が1994年に“都市開き”する。

産・学・官などの協力と連携を基に一大国家企画の建設が進み、世界的な学術研究機関・国際的交流拠点の他に、新たに戸建・中高層居住地域や都市基盤も整備され、緑豊かな未来志向の都市環境の創出が図られている。

また、学研都市建設記念の<けいはんな記念公園>では、水景園(日本庭園)、芽吹き森(里山)、棚田風広場などが、四季折々の風情(梅・桜・躑躅・紫陽花・半夏生・紅葉など)を醸し出している。

◇バブルの象徴 旧「私のしごと館」

独立行政法人雇用・能力開発機構が、2003年に開館し2010年に閉館した“勤労体験施設”。実物大宇宙ステーション、一度も使われない燻蒸庫など。約580億円投じたものの無駄使いの典型と世間から批判を浴びる。



◇庭屋一如の設計思想 「国立国会図書館関西館」

1948年に設立された本邦唯一の国立図書館。納本制度に基づいて、国内で刊行される出版物の網羅的な収集・保存に努めている。また、外国の出版物については、重点分野を定めて選択的に収集している。

関西館は、近畿圏の大規模調査研究図書館として2002年に開館。設計：陶器二三雄 一国際建築設計競技で選出—



(各写真はHPより)

順路：駅前バス停⇒旧私のしごと館(外観のみ)～国立国会図書館関西館(昼食)～けいはんな記念公園⇒JR「祝園」・近鉄「新祝園」

- ◇日 時：11月21日(土) 11時30分～17時頃
- ◇集 合 場 所：JR「祝園(ほうその)」or近鉄「新祝園」駅
駅前バス停 11時30分集合
歩行距離約3～4km
- ◇費 用：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
- ◇入 園 料：220円(一般)、110円(65歳以上)
- ◇食 事 処：国立国会図書館関西館カフェテリア
- ◇申 込 み 先：すまいをトーク事務局(北川)(要申込み)
ショートメール：090-2067-6488
- ◇当日連絡先：080-9815-7257(牧)

11月21日(土)	
すまいをトーク参加申込書	
氏名	
当日連絡先	
懇親会	参加 ・ 不参加

申込みは、11月14日までにショートメールでお願いします



第9回 2026年12月10日(木)

【座学】

蘇った古民家の古材たち

～古民家の梁丸太・差し鴨居の再生／リノベーション住宅の実例～

○講師：梅田 誠亮氏
(すまいをトーク運営委員)

奈良出身
1981年 金沢工業大学建築学科卒
2級建築士取得
(株)梅田工務店入社



○講師：高木 博氏
(すまいをトーク運営委員)

1939年 大阪府堺市生まれ



○講義内容

昭和初期に建てられた農家住宅。それに組み込まれている丸太梁や地松の差し鴨居に魅了され、解体時に丁寧に外してもらって、堺市のリノベーション住宅、八尾市の部分新築へ再利用！！

堺市のリノベーションは、施主自身が保管していた梁丸太を化粧材として再利用。

講義では「リフォーム」と「リノベーション」の違い、及びそのビフォーアフターを画像で披露します。



- ◇ 会 場 : 大阪市立住まい情報センター 5階研修室
大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間 : 18時30分～ 20時30分
- ◇ 参 加 費 : 単回参加 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催 : すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>
- ◇ 当日連絡先 : 090-2706-3323(梅田)



第10回 2027年1月14日(木)

【座学】

大坂三郷の大工集団

○講師：田坪 賢人氏 (大阪公立大学大学院研究員、京都学・歴彩館京都学推進研究員)



【略歴】 1996年 京都生まれ
大阪市立大学文学部哲学歴史学科卒業
大阪市立大学大学院文学研究科哲学歴史学専攻日本史学専修
後期博士課程 修了 博士(文学)
日本学術振興会特別研究員を経て、現職
※所属は2026年1月現在
専攻：日本近世史

○講座内容

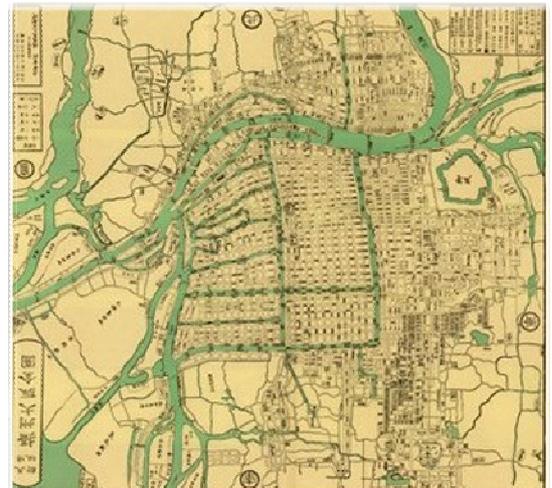
江戸時代は全国的に城下町を中心とする様々な都市が建設され、発展した時代で、その中でもとりわけ巨大化した都市のひとつが大坂でした。また、そうした都市を中心に、独自の技術とそれに応じた道具を持ち、それによって様々なモノを作る職人たちが広く展開した時代でもありました。

その中でも特に数多く存在したのが大工職人で、彼らは都市空間を構成する様々な建築物の建設・維持を担う重要な存在でした。

本講座では、江戸時代の都市大坂において大工職人たちがどのように存在していたのかを彼らが形成した大工組と呼ばれる集団のあり方と、彼らを取り巻く都市社会の人々との関係の2つの側面から紹介します。



鉞形蕙斎『職人盡繪詞』第2軸(和田音五郎 模写、国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/11536005>より)



天保新改摂州大阪全圖(国際日本文化研究センターより)

- ◇ 会 場 : 大阪市立住まい情報センター 5階研修室
大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間 : 18時30分～ 20時30分
- ◇ 参 加 費 : 単回参加 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催 : すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>
- ◇ 当日連絡先 : 090-5046-9800(中村)



第11回 2027年2月18日(木)

【座学】

瓦職人として [part 2]

○講師：平山 直樹氏 (ルーフトイルミナツ (平山瓦店) 代表)



1976年 兵庫県明石市生まれ
 1993年 株式会社木村瓦入社
 2010年 ルーフトイルミナツ (平山瓦店) 設立

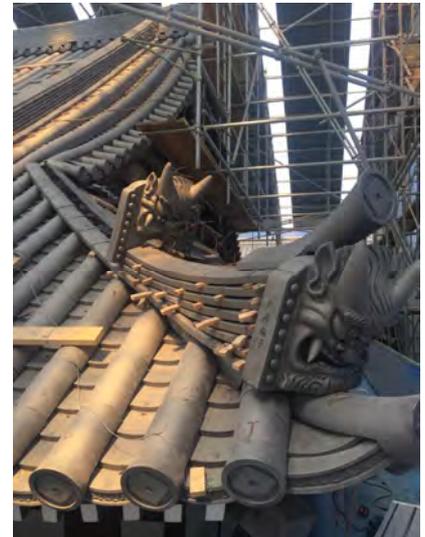
1997年度 瓦部門技能検定実技金賞受賞
 2004年度 1級技能検定実技試験合格
 2005年度 ヤングスキルin淡路競技大会優勝

主な施工物件

- ・高取町 西方寺本堂 新築工事
- ・高田市 妙峰寺山門 新築工事
- ・広陵町 方神社拝殿 葺き替え工事
- ・高田市 八幡社 葺き替え工事
- ・桜井市 桜井大福分教会本堂 新築工事
- ・奈良市 常福寺 地蔵堂 葺き替え工事
- ・橿原市 橿原神宮勅使館・斎館 屋根改修工事
- ・高田市 常德寺本堂・山門 葺き替え工事
- ・奈良市 西蓮寺 新築工事
- ・奈良市 八幡神社 葺き替え工事

○講義内容

- ① 瓦店の門を叩いたきっかけとは？ (前回講義のあらすじ)
- ② 瓦の構造仕組みを解りやすく解説
- ③ 素人でも解る上手な葺き方、下手な葺き方 (民家・社寺)
- ④ 自己のこれまでの作品を紹介
- ⑤ 瓦割り作業の実演 (予定)



- ◇会場 : 大阪市立住まい情報センター 5階研修室
 大阪市北区天神橋6丁目4-20
 大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇時間 : 18時30分～ 20時30分
- ◇参加費 : 単回参加 一般1,500円、学生1,000円
- ◇主催 : すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>
- ◇当日連絡先 : 090-2706-3323(梅田)



第12回 2027年3月20日(土)

【見学】

奈良監獄ミュージアム(星野リゾート) と 般若寺

案内人：中村 忠夫氏 (すまいをトーク運営委員)



1950年 大阪市生まれ
豊中市在住



旧奈良監獄 表門 (HPより)

■ 星野リゾートが運営する「奈良監獄ミュージアム」は、重要文化財である旧奈良監獄(旧奈良少年刑務所)を活用し、2026年4月27日に開館予定です。

明治時代の「五大監獄」で唯一現存する美しい赤レンガ建築を活かし、「美しい監獄からの問いかけ」をコンセプトに、自由や生き方について考える体験を提供。

保存エリア(第三寮、看守所など)と展示エリア(歴史・建築、監獄生活、アート)で構成され、カフェ・ショップも併設されます。併設ホテル「星のや奈良監獄」も同年に開業予定で、文化財保護と観光を両立させるプロジェクトです。

(HPより)



旧奈良監獄 収監所 (HPより)

■ 奈良坂の古道にそって立つ般若寺は、飛鳥時代に高句麗僧慧灌法師によって開かれた。聖武天皇が平城京の鬼門を守るため「大般若経」を基壇に納め卒塔婆を建てられたのが寺名の起こりとされる。

平家の南都攻めにあい伽藍は灰燼に帰したが、鎌倉時代に入って廃墟の中から十三重石宝塔をはじめ七堂伽藍の再建が行われ寺観は旧に復した。

当寺は、「平家物語」や「太平記」「宮本武蔵」など歴史文学の舞台としても世に知られる。そして四季折々の花は古寺の庭に彩と風情を添えている。

(HPより)



般若寺楼門(国宝) (HPより)

【順路】 奈良交通近鉄奈良駅前バス停⇒般若寺バス停～般若寺～植村牧場～奈良監獄ミュージアム(星野リゾート)～般若寺バス停⇒奈良交通近鉄奈良駅前バス停(17時頃解散)

◇日 時	3月20日(土) 14時30分～17時頃
◇集合場所	近鉄「奈良」駅西改札口 14時30分集合 雨天決行 歩行距離 約1km
◇費用	単回参加者 一般 1,500円、学生 1,000円 般若寺参拝料 200円 奈良監獄ミュージアム(星野リゾート) 一般 2,500円、奈良県在住者 2,000円(要証明書)
◇申込み先	すまいをトーク事務局(北川) (要申込み) ショートメール：090-2067-6488
◇当日連絡先	090-5046-9800(中村)

3月20日(土)	
すまいをトーク参加申込書	
氏名	
当日連絡先	
懇親会	参加 ・ 不参加

申込みは、3月13日までにショートメールでお願いします